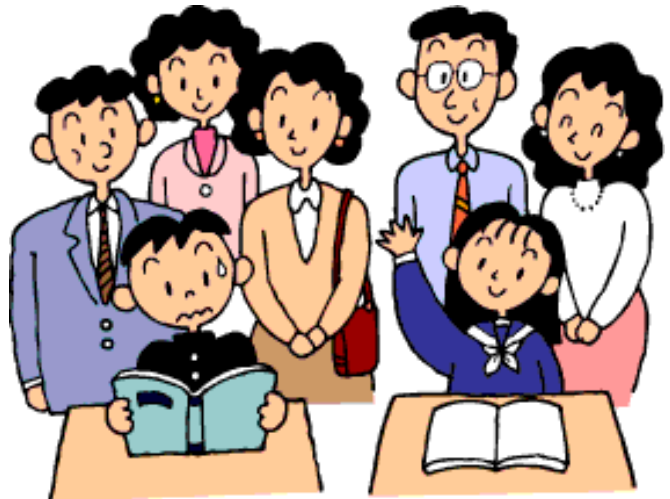


## ～心に残る、親子の触れ合い～

園に迎えに来た保護者から「先生、上の子が授業参観のとき、前を向かずに私の方ばかり何度も見ていて。話を聞いていないと思ったのに、さっと手を挙げて答えたからびっくりしちゃった」と聞き、自分の小学生の頃を思い出しました。

私は、小学1年生の頃、授業中に自分から手を挙げたり発言したりすることは全くしていませんでした。みんなに注目されることが恥ずかしく、また大勢の人から見られることもとても嫌だったからです。授業参観の前日、「お母さんが来てくれることはうれしいけど、たくさん人が来ることは嫌だ」と話すと、母は「明日は見てるから大丈夫だよ」と眠る前に体を優しくさすってくれました。授業参観当日、授業が始まると私は後ろを振り返り、母がいることを確かめました。母が笑ってくれると安心してまた前を向きましたが、手を挙げたり発言したりはしませんでした。家に帰ってから母は「何回もお母さんの方見てたでしょ」と笑ってくれ、「ちゃんと前を向きなさい、手を挙げなさい、発言しなさい」とは言わず、3年間それは続けました。4年生の授業参観前夜、母から「明日は好きだって言っていた国語だね。楽しみに見に行くね」と話してくれました。授業参観当日、いつもの通り後ろを振り返り母がいたことを確かめた私は、初めて自分から手を挙げました。帰ってから母に「初めて手を挙げたね。がんばったね」と褒めてもらったことを今でも覚えています。

子どもは、家族という安全基地を離れて園や学校という社会に行くとき、とても緊張します。そんなとき「大丈夫？」と声を掛けられたり、抱きしめられたりすることで安心でき、勇気を出して行動した後に「よくがんばったね」と褒めてもらったり、抱きしめてもらったりすることで安心し「楽しかった」「次もがんばってみよう」と思えるのではないかと思います。子どもにとって親との心に残る思い出は、園や学校での行事や家族での休日や旅行での出来事だけでなく、忙しい毎日の生活の中で眠る前に抱きしめてもらったことやがんばっていることを認めてもらったことなど、さまざまだと思います。子どもの記憶に残る触れ合いの時間をつくってみてはいかがでしょうか。



一人で悩まないで、まず相談を

・刈谷市 **子ども相談センター** ～子どもに関する相談の総合的な窓口～  
月～土曜：9時～17時（国民の祝日・年末年始を除く）

☎：62-6313 電話相談・来室相談

・刈谷市 青少年電話相談 ☎：23-8888 月～金曜 9時～17時

・県教育相談 こころの電話 ☎：052-261-9671 10時～22時